

新地方公会計制度による4つの財務書類を公表します

市民の皆さんに市の財政状況をご理解いただくため、「新地方公会計制度」に基づき、民間企業会計の考え方を導入し、一般会計のほか企業会計などを含めた本市の資産と負債のすべての状況(平成22年度末)を4つの財務書類にまとめてお知らせします。

連結の範囲

一般会計、特別会計、水道企業会計、土地開発公社、高浜市総合サービス(株)を連結しています。



【連結貸借対照表】

市にどれだけの財産があるか、その内訳はどのようなものかを表しています。

資産の部(これまで積み上げてきた資産)	負債の部(将来世代が負担する金額)
①金融資産…………… 72.2億円 (預金、未収金など)	①地方債…………… 202.8億円
②事業用資産…………… 470.3億円 (市役所、学校などの土地・建物など)	②借入金…………… 2.7億円
③インフラ資産…………… 774.3億円 (道路、上下水道、橋などの土地・設備など)	③退職給付引当金…………… 24.8億円
	④その他…………… 6.7億円
	負債合計 237億円
	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)
	純資産合計 1,079.8億円
資産合計 1,316.8億円	負債および純資産合計 1,316.8億円

【連結資金収支計算書】

現金の流れを示すものであり、その収支を性質に応じて、区分して表示することで、市がどのような活動に資金を使ったかを表しています。

平成22年度期首残高	18.5億円
①経常的収支…………… 17.6億円 (行政サービス実施による収支)	
②資本的収支…………… ▲1.3億円 (固定資産の購入売却による収支)	
③財務的収支…………… ▲10.6億円 (借入・返済による収支)	
当期収支額(①-②-③)…………… 5.7億円	
平成22年度期末残高	24.2億円

【連結純資産変動計算書】

貸借対照表に計上されている純資産が、1年間でどのように増減したかを表しています。

純資産の増減は、将来サービスに対する蓄えの増減を意味します。

平成22年度期首残高	1,087.7億円
①純資産の増加…………… 194.7億円 (市税収入、国・県などからの補助金など)	
②純資産の減少…………… 202.6億円 (資産の減価償却、純行政コスト)	
当期変動額(①-②)…………… ▲7.9億円	
平成22年度期末残高	1,079.8億円

【平成22年度決算分に基づく市民一人あたりの換算額】

市民1人当たりの資産	市民1人当たりの負債
約290万円(前年比 約5万円の減少)	約52万円(前年比 約3万円の減少)
市民1人当たりの純資産	市民1人当たり行政サービスを提供するために要する費用(市税など)
約238万円(前年比 約3万円の減少)	約35万円(前年比 約3万円の減少)

(平成23年3月31日現在人口:45,457人)